

県会議員 奥村のり子の
読者ニュース

2018年5月20日 第312号
——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
☎&FAX 073-427-7121
Eメール wjcpken@naxnet.or.jp



左側奥が雑賀議員、手前が奥村です。



写真は今年度の事業説明を各課より受けているところです。
新規に取り組む事業や主な事業について10部署から3日間かけて説明を聞きます。質疑をしながらあつという間に時間が経ってしまします。
もっとたくさんさんの議員があればなーと思う場面です。最初は危機管理関係の説明から始まりました。大きな事業としては防災ヘリコプターの更新費用として約28億3千万の予算が計上され

ています。防災ヘリは22年前に運航が開始され、機体の老朽化により更新するということです。本年度入札になつていますが応札は2社ぐらいだそうです。防災ヘリを扱うような会社は国内では三井物産とアメリカのベルークやエアバス社ぐらいのことです。2年後に機体を納入するということです。高額の税金を投入するたため、しっかりと注視してゆきたいと思えます。
(奥村のり子)

今年度事業の聞き取り
防災ヘリ更新について紹介

メガソーラーはいらない・コンサートに2百人!

5月12日、「いずみ山系の巨大太陽発電を考える会」主催の「いずみ山系の森と川を守るコンサート」で、メガソーラーはいらないが北コミュニティセンターで開かれ、約2百人が参加しました。

出演者はファミリーバンド・Crowfield(クロウフィールド)と三線グループ・うりずんの花、村岡キミ子さん(いちハイカーのモノローグ)でした。

始めに共同代表世話人の広瀬正樹氏が開会挨拶をしました。広瀬氏は、計画が自然破壊や土砂災害等の危険性を伴っていること。鈴鹿電設が昨年、本申請を提出し、県は書類不備として返却、事業者は再提出したが今も書類不備のままであること。地元では不同意を決議している自治会や水利組合があること。今まで取り組んできた

メガソーラー
いらない
コンサートに200人!



上は舞台、下は会場みんなで踊り

団体署名が77団体、署名数は1万筆を超え、県に提出したことを報告しました。

出演のトップは、村岡キミ子さんと、満開の桜等の映像をバックに山や川に飛来するカワセミやルリビタキなどを紹介しながら、いずみ山系の豊かな自然を心を込めて語りました。

うりずんの花は、昔沖繩の方々が昭和紡績に女工として働きに来ており、その方々に思いをさせて、また、沖繩に伝わる平和を願う歌や踊りを披露。クロウフィールドは、「原発反対ですが再生可能エネルギーが自然破壊に繋がる計画では「思いは同じ」との話がありました。最後に三線に合わせて、みんなでカチャーシーを踊り大いに盛り上がりました!

党市議会議員
南畑さち代



前
久氏



共産党和歌山県委員会は11日、来年度の参院選和歌山選挙区候補として、党県常任委員の前久氏(61)を擁立すると発表しました。前氏は会見で、安倍自公政権による憲法破壊を厳しく糾弾。北朝鮮問題で圧力一辺倒の安倍氏を批判。改ざん、隠ぺい、ねつ造、セクハラなどの異常事態に陥っている安倍政権退陣を強く求めました。県独自の諸要求実現も訴えました。

参院選挙区候補に前氏擁立

島くみ子氏



日本共産党も参加している「活気ある住みよい和歌山市をつくる会」は、7月22日告示、29日投票の和歌山市長選に立候補を表明している島くみ子氏(62)と無新と政策協定を結びました。民主的な市政運営、住民自治、憲法を暮らしに生かす政策です。政策の中心は当紙面のリレートークに登場する市会議員さんも述べると思っています。ご期待下さい。

市長選で市つくる会が政策協定

5月18日 市駅前・宇治交差点朝宣伝、人権裁判、河北地域訪問

5月19日 医療生協河西支部バスツアー

5月20日 障害者スポーツ大会、河西つどい、和歌山駅前市民アクション宣伝行動、女性後援会世話人会事業説明会、河西事務所生活相談

5月21日 工業技術センター記念式典、滝畑産廃抗議集会

5月22日 団会議

5月23日 可北也或宣言行動、市駅前事務所生活相談

5月24日

のり子の週刊日誌(主なもの)

リレートーク Relay Talk

